



特集

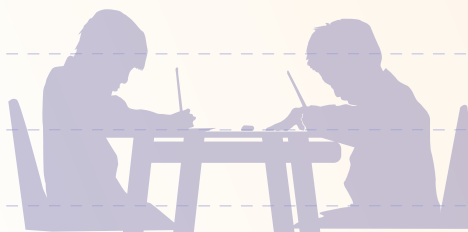
「小5 統一合判」3

中学入試レポート vol.

私学が育てる人間力

～器量の大きな人を育てる私立中高一貫校。
生徒は、それぞれの場所で青春を謳歌する～

「小5 統一合判」中学入試レポートでは、これまで2回にわたり、12歳の進路選択、学校選びの視点についてご紹介してきました。今回は、「教室の外」に注目し、私立中高一貫校で学び生活する「生徒」の姿を追っていくことにします。どのように成長するのか、どんな成果をあげているのか、大学合格実績だけではない活躍こそ、私立中高一貫校の教育の多様性、底力を示していると言えるでしょう。



首都圏模試センター

スポーツで世界を広げる

まず運動部の活躍を見て行きましょう。

野球をしのぐと言われるほど、サッカーの人気の高い昨今ですが、サッカー部はいずれの学校でも人気の部活です。女子サッカー部は、女子サッカーの広がりとともに増えており、2009年の東京都女子高校サッカー新人戦は公立・私立計29校で行われた記録が残っていますが、2019年度の東京都サッカー協会女子連盟高校部会加盟の高校は52校（私立は28校。うち中高一貫校は20校）になっています。女子サッカーを牽引してきたのは、●十文字です。全日本選手を数多く輩出し全国トップレベルを維持。この夏の高校総体でも見事優勝しました。



今夏のインターハイで優勝した●十文字のサッカー部、日本女子サッカー界を牽引する選手も輩出している。

サッカーやラグビーではスポーツをとおした国際交流も行われており、イギリスの私立名門イトン校サッカー部は来日して、全国屈指の強豪◎桐光学園や●静岡聖光サッカー部と親善試合を行っています。静岡聖光は、ラグビー発祥の学校とされるイギリス・ラグビー校との交流試合も行っていますが、同校ラグビー部員の活躍は、スポーツにとどまりません。「主体性とは何か、学生スポーツとはどう在るべきか」について高校生同士で議論しようと「部活動サミット」を呼びかけ、昨年、今年と続けて生徒の手で開催しました。クラウドファンディングを使い開催費用を募って実現する計画力、行動力は、学習、部活動両面で培われたものでしょう。なお同校の生徒は今夏、「第一回国際未来共創サ

ミット」も成功させました。静岡大学の留学生による英語の授業サポートが日常的にあることや、海外の学校との交流や留学、学生国際会議への参加などを行ってきた成果でもあります。

スポーツに話を戻しましょう。

サッカーでは、◎修徳、◎成立学園は男女共に、女子は●文京学院大学女子の強さが光ります。ラグビーでは花園（全国高校ラグビーフットボール大会）を目指す強豪揃い。◎昌平、◎国学院久我山、●本郷、◎桐蔭学園、◎早稲田実業、◎茗溪学園、◎国学院栃木、◎東海大学相模、◎目黒学院など全国に名をとどろかせています。

高校バレーボールの東京女子では、◎八王子実践、●文京学院大学女子、◎共栄学園、●下北沢成徳が不動の四強。◎駿台学園、◎東京立正など四強の壁を破ることを目標にする強豪も多く、東京の女子決勝戦は全国一決定戦と言われるほどの激戦区です。千葉は公立高校が強い地域ですが、◎二松学舎大柏、◎八千代松陰もトップレベルに肉薄する実力校。

2020東京オリンピックで正式採用された種目のひとつが空手。中高でも●世田谷学園、◎八雲学園、◎目黒学院、◎秀明八千代などがしのぎを削っています。

アメリカンフットボールでは、●佼成学園のチーム「ロータス」の三連覇か、●足立学園や



ダンス部が扉を飾る◎桐光学園の広報誌「桐光ジャーナル」2019年春号



●桐朋の最寄り駅はJR中央線国立駅。南武線谷保駅からも同じくらいなので、駅前の和菓子屋さんのあわ大福目当てに谷保駅を利用。数ある大福の中でも、モチモチ感、餡の甘さが絶妙。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



特集

私学が育てる人間力

～器量の大きな人を育てる私立中高一貫校。生徒は、それぞれの場所で青春を謳歌する～

●早稲田大学高等学院が立ちをはかるかが注目されます。足立学園は剣道部や柔道部も強く、文武両道の伝統が息づいています。

ダンスも中高生に人気の部活です。文化祭などでの発表はもちろん、大会での上位入賞を目指して練習を積んでいます。全員で一つのものを作り上げる喜びを感じるうちに、リーダーシップ、フォロワーシップが自然と身についていきます。8月に行われた第7回全国高等学校ダンス部選手権の決勝には、●品川女子学院、◎広尾学園、●トキワ松学園などが出場。広尾学園は8位に輝きました（ちなみに前年覇者の、あの登美ヶ丘高校ダンス部は5位といえ、如何にレベルの高い大会かがわかりいただけるでしょうか）。また第12回日本高校ダンス部選手権には、◎桐光学園や◎目黒日本大学が出場を果たし、存在感を示しました。

女子プロゴルフ選手の山口すず夏さんは●共立第二女子出身。今年3月、高3在学中にプロとなり黄金世代の一人として活躍が期待されています。同校のゴルフ部は、恵まれた環境のもと、後輩たちの活躍が続いています。

バスケットボールでは、全国制覇を目標に掲げる◎昭和学院の女子の強さは別格。高校総体やウインターカップの常連◎八雲学園の高3在学中に2018年のジャカルタ・アジア大会3人制バスケットに出場し銅メダルを獲得した奥山理々嘉選手は、現在、実業団に所属し、日本女子バスケット界のネクストスターとして期待される逸材です。◎東京成徳大学、●日本体育大学桜華、●藤村女子、◎実践学園、◎東海大学菅生、◎八王子学園八王子は上位常連校。

この他にも、野球、テニス（硬軟）、チアリーディング、陸上、自転車競技、卓球など、いろいろなスポーツを楽しんだり、競技の頂点を目指したりしています。山岳部では活動にボルダリングを取り入れているところもありますし、まだない新しい部を立ち上げる例も少なくありません。中高時代の行動力や吸収力、柔軟性は、部活動の面でもいかに発揮されます。

文化部で躍動する

文化部というと、地味で目立たないといわれがちですが、活動は実に多彩。

動物愛護の活動に取り組んでいる、◎山手学院の「ねころ部」、●桜蔭の「ボランティア部」、●白百合学園の「点字部」などのボランティア系の部活も少なくありません。◎淑徳には、「社会福祉部」があります。留学コースの生徒が中心となり、海外ボランティア活動の経験を活かしているのは、同校ならではのようです。

「合唱部」「吹奏楽部」の練習は運動部並みとも言われ、勉強と両立しながら練習時間を工夫し、全国レベルを保つのは並大抵の努力ではありません。各種の合唱コンクール常連なのは、●豊島岡女子学園、●大妻中野、●清泉女学院、◎栄東など。大妻中野は、3月に卒業コンサートを行います。思いが一つになったハーモニーは圧巻です。



●大妻中野の合唱部引退公演。これまでに思い出があふれ出し、涙があふれる。笑顔がこぼれる。

清泉女学院の「音楽部」は、5月にラトビアで開催された国際合唱コンクールに参加し、総合グランプリを獲得しました。国内の大会でも常に上位入賞し、「清泉サウンド」にはファンも多いのですが、国際大会に出ることは、音楽をとおしてグローバルにつながることを感じて欲しいとの願いがあるといえます。

吹奏楽部では、◎東海大菅生、◎関東学院の力強い演奏は聴くものを引き付けてやみません。

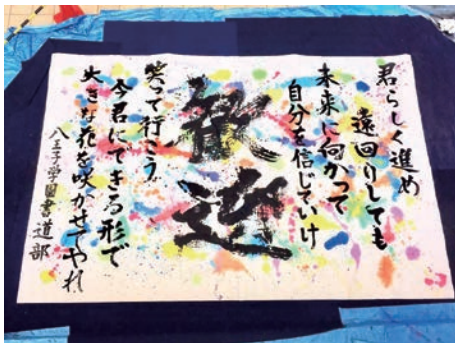
書道部の活動も多様になってきました。●聖徳大学附属女子（2021年より共学化）の書道部は、漢字や仮名の文字文化についての知識を



●桐朋女子のある仙川には、人気のベーカリーがある。並んでも買いたい人気なのは角食パンだけど、昭和の駄菓子屋さんのように並んだカゴに置かれたパンを選ぶのも楽しい。

学び、表現や技法を習得しながら、自分自身の表現を目指しています。学園を訪れると、端正な作品が展示されており、真摯な姿勢がうかがえます。大きな紙に、部員で考えたメッセージを書き上げる書道パフォーマンスは、言葉の力と力強い筆さばきが見るものを感動させます。◎八王子学園八王子も、新入生歓迎会や文化祭のほか、9月には近隣のショッピングセンターでもパフォーマンスを披露し、書の魅力を発信しました。

2019年の「全国高等学校総合文化祭」演劇部門および全国高等学校演劇大会で「最優秀賞」に輝いたのは●逗子開成の演劇部です。地区大会、都道府県大会、ブロック大会を経ての全国大会。脚本、キャスト、裏方まで部員が協力して作り上げる舞台にかける全国の高校生の情熱は、毎年、テレビ番組ができるほどです。逗子開成は、学校の特別プログラムにシネマ倶楽部（徳間記念ホールで映画上映会を開催）もあり、校内で幅広い芸術作品に触れる機会があります。



◎八王子学園八王子書道部の新入生歓迎会パフォーマンスの作品。作品は部の公式Twitterでも発信している。

伝統文化を学ぶ

伝統文化、武道を部活動で学んでいる部・クラブも、堅実な活動を続けています。●実践女子学園「謡曲仕舞部」や●跡見学園「仕舞部」、●大妻や●学習院女子の「日本舞踊部」、◎桐蔭学園や◎駒込、◎聖徳学園などの「和太鼓部」、◎文化学園大学杉並の「なぎなた部」などは少数派ながら、合宿も行いつつ技を磨いています。桐蔭学園には、東大・電通勤務を経て和太鼓の



●富士見の和室は授業では礼法で使われる。たたみ、掛け軸、床の間、つくばいなど、家庭では触れる機会の減った様式に触れることができる。

プロ集団を率いる卒業生もいます。●聖園女学院、●城北、◎都市大等々力など多くの学校にある「弓道部」もアニメの影響もあり、人気の部活。城北は全国レベルだけに、本格的な弓道場が自慢です。

マンガとアニメ・映画で人気に火が点いたのは「かるた部」でしょうか。チームワークも必要で、集中力と精神力、瞬発力を競う競技かるた人口は急増しているといわれますが、●暁星の「かるた部」は強豪。今年7月に行われた「全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会」において、3年ぶり12回目の優勝を果たしました。

「囲碁部」や「将棋部」も、男女問わず多くの私学生が活躍しています。

「茶道部」の活動も“静”ばかりではありません。●藤嶺学園藤沢の学校キャラクター「トーレ君」は背中に茶袋を背負っていますが、なにしろ同校は6年間茶道が必修。茶道部は点前の稽古や遊行寺での野点や茶会の開催はもとより、道具などの美術も学びます。●巣鴨の茶道部員は、この夏、サマースクールのために来日したオックスフォードやケンブリッジ大学卒のイギリス人エリートたちに、英語でお茶をふるまいました。●跡見学園、●大妻、●富士見、●山脇学園、●聖徳大学附属女子などには、にじり口やつくばいなどのある本格的な茶室もあり、授業でも使われ、茶道をたしなみます。

コンクールや大会に積極的に参加する

部活動以外の課外活動を「他流試合」と言ったり、「自主活動」と言ったり、多くの私学は、生徒

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



やはりお菓子のホームラン王は、自由が丘生まれの定番中の定番。最近では季節限定の味も楽しみ。都立大店では●トキワ松学園とのコラボ商品を作ったことも。



特集

私学が育てる人間力

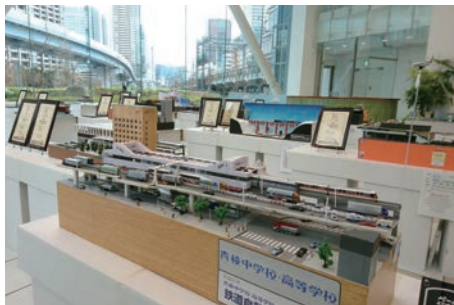
～器量の大きな人を育てる私立中高一貫校。生徒は、それぞれの場所で青春を謳歌する～



今年の鉄道模型コンテストで「来場者が選ぶナンバーワン賞」を受賞した●白梅学園清修の作品。私たちの青春、雨上がりの午後6時のSoftly...

の学校外でのさまざまな活動を応援しています。

「鉄道模型コンテスト2019」のモジュール部門（Nゲージの鉄道ジオラマ部門）で、●海城、●白梅清修中高一貫部が優秀賞を受賞。白梅清修中高一貫部の作品は、来場者が選ぶナンバーワン賞に選ばれ、初受賞に花を添えました。昨年、最優秀賞の◎関東学院六浦も、鉄道模型普及の功労者、故加藤祐治氏を称えて設けられた加藤祐治賞に輝きました。◎開智、◎日本工業大学駒場、◎青稜、●共立女子、◎横浜富士見丘学園など多くの学校が毎年、鉄道のある景色のリアルさや物語性を競っています。白梅清修中高一貫部から参加した「鉄道模型部」は、地域で活躍しているプロの方から校内で指導を受ける、エリアコラボレーション（通称エリコラ）活動のひとつです。共立女子の参加団体は地理歴史部で、土地の地理や歴史について調べ、鉄道模型に表現しています。現地調査も行い空気感まで再現するべく日用品を工夫して風景に見立てる工夫は、なかなか真似できないと他校生をうならせます。青稜は、紙だけで作る「ペーパー



ペーパージオラマグランプリで三連覇した◎青稜の作品。東京モノレール天王洲アイランド周辺を紙だけで再現。

ジオラマグランプリ」では三連覇中。いずれの学校の生徒も作り方や苦労したところ、工夫がうまくいったときの喜びを語る姿は、鉄道模型という世界を超えて共感を呼びます。

鉄道模型コンテストでベストファンタジー賞を受賞した●普連土学園の「理科部」は、昨年行われた「ロケット甲子園」で優勝し、今年6月の国際大会に日本代表として出場、みごと3位に入賞するという活躍も見せています。

●日大豊山女子の「コンピューター部」は、昨年、「F1 in Schools」に参加。「自分たちで製作した車を走らせてタイムを競う」「プレゼンテーションする」ことが審査されるこの大会で、世界大会まで歩を進めました。日本大学の先生や学生のフォローを受けられる付属校のメリットが大いに生きたと謙遜しますが、なかなか出来ることではありません。

新しいスポーツ、e-スポーツ。第2回全国e-スポーツ選手権では日本工業大学駒場のシステム研究部が健闘。昨年の第一回リーグ・オブ・レジェンド部門では、◎横浜市立南を準決勝で破った◎学芸大学国際が優勝するなど、広がりを見せています。

外部コンテストも多種多様。株式投資学習のプログラム、「日経ストックリーグ」の入賞常連は、●筑波大学附属駒場、●開成、●豊島岡女子学園です。

部活動や課外活動での活躍は、それぞれの興味関心の発露であることを教えてください。

土・空・水に親しむ

学校に「ファーム」を持つ学校もあります。

●鷗友学園女子や●恵泉女学園は、授業でも「園芸」を大切にしている学校ですが、「園芸部（クラブ）」が校内にある“畑”で野菜や花、ハーブを栽培。文化祭やバザーなどで加工して販売しています。●獨協は、ビオトープや屋上壁面緑化、獨協の森作りなど環境教育に積極的で、「緑のネットワーク委員会」がホテルの観察にも取



JR京浜東北線東十条駅南口近くにある和菓子屋さんのどら焼きは、遠方からわざわざ買いに来る人もいて、休日は行列必至の看板商品。1個120円でお店にも近い◎東京成徳大学の中高生も大好き。

り組んでいます。こうした日々の活動は、イェローストーンサイエンスツアーやドイツ研修につながっていることをうかがわせます。●小野学園女子(2020年4月より共学化し◎品川翔英)の「生態環境調査クラブ」は、動物を飼育したり、学園施設「大井町自然再生観察園」でゲンジボタルの状況や水生生物、植物などの生態調査をしたりしています。観察園のホタル鑑賞の夕方は、近隣のみなさんも毎年楽しみにしているイベントだそうです。

●恵泉女学園は、日頃から実験や観察を大切にしていますが、週に1回、放課後の課外活動に理系・文系問わず希望者が参加する「サイエンス・アドベンチャー」があります。生物班、化学班、物理班、コンピューターサイエンス班に分かれて科学を楽しんでおり、物理班はモデルロケットの全国大会へ出場、コンピューターサイエンス班はプログラミングロボットのコンテストへ出場するなどしています。●山脇学園の中3が希望制で参加している「科学研究チャレンジプログラム」では、ロボット研究グループの高1生が、2017年に韓国ソウルで行われた「STUDENT PAPER CONTEST」でBRONZE AWARDを受賞し、研究や志を後輩たちが継承しています。

昭和元年に始まった生徒・教師による気象観測を前身とする「成蹊気象観測所」のある◎成蹊。同観測所が観測した気象データは、様々な機関から提供の問い合わせがあるほど精密なものです。この伝統は、「高校気象天文部」が受け継ぎ、観測や最先端の天文学に挑戦しています。成蹊の理科館、生物実験室の壁一面に並ぶ水槽では「生物部」が150種以上の生物を飼育しており、“ちょっとした水族館”と自負するほどです。天体観測では、●武蔵の「太陽観測部」は80年以上も太陽黒点観測を続けており、表彰されたこともあります。◎栄東の「理科研究部」は、学校協の芝川の水質・生息生物の調査や地震の研究を続けており、学術誌への論文掲載の実績もあります。文化祭での実験、ポスターセッション



学校案内の部活動紹介ページは躍動するエネルギーがあふれ出しよう。

ンなどで、先輩から後輩へ引き継がれた成果に触れることができます。

◎桐蔭学園、◎横浜翠陵、●武蔵など、校内の豊かな自然は、生物部にとって格好の活動場といえるかもしれません。

ことば・物語の世界を楽しむ

読書の秋、中高生を対象とした文学賞も、数多く開催されます。

昨秋の第11回 田辺聖子文学館「ジュニア文学賞」(大阪樟蔭女子大学主催)では、小説部門中学生の部で、●フェリス女学院の中3(当時)が、読書体験記部門高校生の部で●女子学院の高2(当時)がそれぞれ最優秀賞を受賞し、田辺聖子賞に選ばれました。●田園調布学園、●慶應義塾普通部、●暁星、●学習院女子、●白百合学園、◎都立両国高校附属の生徒も受賞者に名を連ねており、国語にかぎらず授業でも、「書くこと」に慣れ親しみ表現している環境がうかがえます。

昨年の「英語読書コンテスト」(ナショナルジオグラフィック社主催)でも多くの私学生徒が優勝はじめ多く入賞しました。中学校日本語感想文の部では、●湘南白百合学園、●静岡雙葉、英語感想文の部で◎お茶の水女子大学附属、●桜蔭。高等学校日本語感想文の部で、●東京家政大学附属女子、英語感想文の部で◎都立桜修館。東京家政大学附属女子では、英語力アップに取り組んでおり、このコンテストへの参加も多読を奨励している取り組みの一環でした。また図書委員が、地域の書店とコラボすることも

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校

はみだし
コラム

スペインの焼き菓子ボルボロン。●光塩女子学院のものはスペイン人の修道女たちから引き継がれただけにゼッピン! 今やパザーのみでしか出会えない“絶”品。



特集

私学が育てる人間力

～器量の大きな人を育てる私立中高一貫校。生徒は、それぞれの場所で青春を謳歌する～

あります。●田園調布学園では、POPを作成したりディスプレイをまかされたり。お勧め本を紹介するフリーペーパーを作成し書店においてもらっているのは●トキワ松学園。委員会活動でも学校のなかに留まらない活動が光ります。

今年の俳句甲子園では、●開成、◎星野が健闘しました。●立教池袋も常連の域。研ぎ澄ました感性のぶつかり合いは、ビブリオバトルやディベート大会などでも見ることができます。今夏の高中生模擬裁判選手権関東大会には●湘南白百合学園、◎渋谷教育学園幕張が出場しました。

学校の垣根を超える

ある国の大使として模擬国連会議に参加し、英語を用いた課題解決の議論、交渉を行う「全日本高校模擬国連大会」は国際問題を理解し、解決策を探ること、その上で豊かな国際感覚をもつ人材の輩出することを目的としています。ニューヨークで行われる世界大会へ出場している◎渋谷教育学園渋谷、◎渋谷教育学園幕張、◎桐蔭学園など、ハイレベルな議論と交渉術は高校生とは思えないほどです。模擬国連の取り組みは、この大会に留まらず、生徒がフロント（運営者）を務める学校独自の会議も広がりをもせ共同で開かれています。

学校や地域の枠を超えて行動する生徒たちは、まだまだたくさんいます。

例えば、「高校生G20サミット」。6月に開かれたG20大阪サミットに先立ち、日本全国の高校生が集結して、G20の議題について話し合い、日本政府への政策提言としてまとめ、Y20をとおして安倍総理に提出されました。会場となったのは渋谷教育学園渋谷でしたが、学校は会場を提供しただけ。同校の生徒や●聖光学院の生徒たちがY20の大学生や先輩と交流する中で高校生のG20会議が企画として生まれ一気に開催に至ったのだそうです。

11月には熊本で「女子校サミット」が

開催されます。医学部入試の女子減点問題をきっかけに、男子と女子の違い、都市部と地方の意識の差を感じた●熊本親愛女子の生徒が、大人のアクションを待つのではなく、自分たち高校生にできることを全国に発信していこうと立ち上げました。東京から招かれたのは●鷗友学園女子。本会議に向けて、WEB上で参加5校が会議を開き、当日に向けて準備を進めています。クラウドファンディングも行われていますので、ご協力をお願いします。

●清泉女学院には、倫理の授業から生まれたAI倫理会議実行委員会があります。●栄光学園との交流がうまれ、今年3月の第3回会議には、2校のほか、●浅野、◎関東学院、◎湘南学園、●世田谷学園、●洗足学園、●横浜共立学園も参加して会議が行われ、AIに関する知識を専門家から学び、5つの分科会で倫理憲章を作成しました。報告書は内閣府に提出し、担当者と意見交換しています。

社会に関わる、目を向ける

今年4月の東京大学入学式における上野千鶴子名誉教授の祝辞に大きな関心が集まりました。ジェンダーに関する問題提起を、30代・40代の母親の多くは好意的に受け止め、女子新入生たちはピンとこなかったようだと言ってくれたのは、都内女子進学校の先生です。新入生世代のある女子は、自分たち世代のことを「物心ついた時から女性の問題や活躍をテレビやネットで見聞きしり



◎工学院大学附属の「ちーむペリーぐっと」。コミカルなキャラクターに扮した動画で、わかりやすく防災の大切さを訴えている。

はみだし
コラム

●中村から地下鉄清澄白河駅にもどるとき、ちょっと足を伸ばした商店街途中に、そのパン屋さんはある。誰もが元祖と認めるカレーパンは具たくさんなので、説明会帰りがオススメ。

マインドされている」と、ある新聞のインタビューに答えています。振り返ればこの世代は、自分たちを取り巻く環境の変化に否が応でも敏感になる時期に、大きな出来事を経験してきました。小学生の頃に、リーマンショックや東日本大震災があり、中高時代には大学入試改革の議論やAIの技術開発が進み、成人年齢が18歳に引き下げられた当事者たち。先のコメントは、自ずと社会の課題に目を向けてきた、中高生の意識の高さを感じさせるものでした。

東日本大震災後には、直後のボランティアばかりでなく、ここ数年は復興を考える福島県のホープツーリズムやボランティアで被災地を訪れる学校も少なくありません。●逗子開成や◎市川、●筑波大学附属駒場、◎明治大学明治の生徒たちは、ホープツーリズムに参加し、被災や復興について考え、議論し、自分たちにできることを考えています。●玉川聖学院の生徒は、心の復興のために岩手県をボランティア訪問しています。

◎工学院大学附属の「ちーむべりいぐっと！」という高1生有志のグループは、附属中学の修学旅行で東北の被災地をめぐることをきっかけに、脚本、撮影、編集、発信まで全てを自分たちで行い、動画で防災啓発の活動をしています。校内のICT環境を活用できるのに加え、21世紀型教育で対話型・問題解決型授業を行なっていることの成果でしょう。

◎湘南学園は、「湘南学園ESD (Education for Sustainable Development = 持続可能な開発のための教育)」に取り組んでおり、生徒のプロジェクト活動に積極的に取り組んでいます。「SDGsアクションブックかながわ」、ふくしまひまわりプロジェクトなど、関心の広さは目を見張るばかりです。研修旅行でお世話になっている周防大島が橋の損壊で困窮したときには、島の生産物を同校の食堂で購入したり、応援サイトを学校ホームページで紹介したりもしました。何より驚くのは、生徒たちは修学旅行先を変更することをせず、島が復興するのを待つ

て訪れたということです。◎桐光学園は「桐光SDGs」として17の目標を設定。来年度からの運用にむけて教師、生徒によるプロジェクトがスタートします。

●湘南白百合学園の生徒も、積極的に地域の活動に参加しています。この夏には、藤沢市や企業の協力を得て、江ノ島ビーチクリーンのイベントを開催。行動力のあるところを見せました。●女子聖学院と●聖学院は、共同でパラスポーツ応援プロジェクトを展開しています。定例会や競技会での応援、パラスポーツの浸透に及ぶまで広く活動しています。

世界大会レベルの、すばらしい活躍も多く伝えられます。一方、教科の枠内にとどまらない、興味・関心にチャレンジする生徒、それを支援する周囲の日常もまた、学校生活の豊かさと充実ぶりを感じさせます。改めて様々な活動・活躍を見てくると、大会の結果だけでなく、泣き、笑い、歓喜する姿につながる日々の一瞬一時が愛おしいものだと思えてきます。まさに「熱中した時間は一生の財産」(武蔵のHP部活動紹介ページより)です。

今回は、国際教育、グローバル人材の育成について見ていきます。



イラストMAPで学校周辺の環境を伝えるリーフレット。見るだけでなく楽しく、今号は学校帰りに寄り道したくなるプチ情報をはみ出し機で紹介。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



●城北、●日本大学豊山女子への最寄り駅、東武東上線上板橋駅の南口商店街にある和洋菓子屋さん。数量限定のどら焼きにはなかなかお目にかかれないが、和も洋も正統派。